

「農山漁村」経済・生活環境創生 プラットフォーム 設立記念シンポジウム

2025 2/4〔火〕

12:00~17:00 (開場11:30)

参加費無料

お申し込みフォーム



オンライン配信あり

会場参加 300人

オンライン参加 1,000人

※定員になり次第締め切らせていただきます。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousin/nousei/241223_1.html

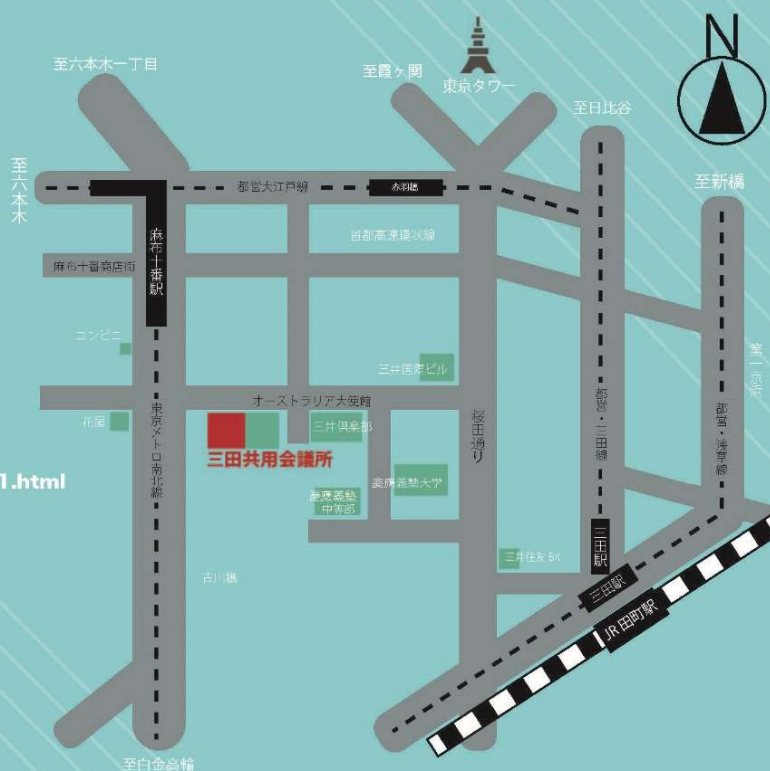
申し込み締切:2024年2月3日(月)正午

会場

三田共用会議所 1 階講堂

東京都港区三田2-1-8

—企業も農山漁村の関係人口に—
地方創生2.0の推進



お問い合わせ 農林水産省農村振興局農村計画課農村活性化推進室

電話:03-6744-2141

Mail:suishinshitsu-kikaku_ML@maff.go.jp

農林水産省

— 企業も農山漁村の関係人口に — 地方創生2.0の推進

現在、農山漁村では、高齢者の引退等による農業者の大幅な急減に直面しています。食料安全保障を確保するには、農業の生産性向上や持続可能性の両立に加え、農山漁村のコミュニティ維持も不可欠となります。農林水産省では、これまでも、関係府省庁と連携して地域による主体的な取組等に対して支援を行ってまいりましたところ、農山漁村をさらに活性化するため農山漁村の関係人口の増加を目指し、民間企業等多くの関係者を巻き込む官民共創の仕組みも活用して農山漁村における地方創生に取

り組んでいます。

今般、農林水産省は、「地方創生2.0」の一環として、関係府省庁、地方公共団体、郵便局、民間企業、金融機関、教育機関等が参画する『農山漁村』経済・生活環境創生プラットフォーム」を立ち上げることにいたしました。本シンポジウムでは、「都市と農村をかきまぜる」というミッションを掲げる、株式会社雨風太陽代表取締役の高橋 博之氏に基調講演をいただくほか、関係府省庁の施策紹介及び各テーマに基づくパネルディスカッションを行います。

プログラム

12:00 - 12:05 [5分]	開会挨拶
12:05 - 12:15 [10分]	設立趣旨・当面の活動内容の紹介 前島 明成 農林水産省 農村振興局長
12:15 - 12:35 [20分]	基調講演 高橋 博之 株式会社雨風太陽 代表取締役
12:35 - 13:20 [45分]	各府省庁施策紹介 朝日 健介 農林水産省 農村振興局農村計画課農村活性化推進室長 大瀧 洋 内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局/内閣府 地方創生推進事務局参事官 橋本 憲次郎 総務省地域力創造グループ地域政策課長 倉石 誠司 国土交通省 国土政策局総合計画課長 その他調整中
13:20 - 13:50 [30分]	写真撮影・休憩
13:50 - 14:30 [40分]	パネルディスカッション① 通い・副業による農業生産の維持 井上 孝矩 株式会社JTB ビジネスソリューション事業本部 営業開発プロデューサー 澁谷 明伸 青森県弘前市 農林部 農政課長 田中 康輔 株式会社パソナ農援隊 代表取締役 益子 洋平 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 マネージャー
14:30 - 15:10 [40分]	パネルディスカッション② 農村コミュニティの機能維持 (地域団体による物流などの各種支援) 杉本 一郎 株式会社時事通信社 取締役 中山 功大 株式会社Ventos 代表取締役 林 篤志 一般社団法人Next Commons Lab 代表理事/株式会社paramita 共同代表 光保 謙治 日本郵便株式会社 事業共創部 係長 吉村 英樹 株式会社ゼンリン モビリティ事業本部 スマートシティ推進部 部長
15:10 - 15:35 [25分]	休憩
15:35 - 16:15 [40分]	パネルディスカッション③ 農山漁村の課題解決を通じた社会的インパクトの実現 安部 敏樹 株式会社Ridilover 代表取締役 高橋 博之 株式会社雨風太陽 代表取締役 増岡 宏和 農林中央金庫 コーポレートデザイン部 部長代理 その他調整中
16:15 - 16:55 [40分]	パネルディスカッション④ 農山漁村でのインパクトスタートアップによる課題解決の可能性と展望 秋元 里奈 食ベチヨク 代表/株式会社ビビッドガーデン 社長 坪井 俊輔 サグリ株式会社 代表取締役CEO 内藤 祥平 株式会社日本農業 代表取締役CEO 永岡 里菜 株式会社おてつたび 代表取締役CEO
16:55 - 17:00 [5分]	閉会挨拶 山口 靖 農林水産省 大臣官房総括審議官